

事務事業名	40486 緑化事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	07	01	01	記入日	令和 3年 6月17日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	07	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	01 緑地・緑化	
施策	38 潤いのある緑地空間の創造	
事業期間		
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	予算管理シート	
事業内容	予算管理シート	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・ 実績	事業内容						
	事業費	10,610	10,315	10,315	10,315	10,315	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	3	3	3	3
		一般財源	10,610	10,312	10,312	10,312	10,312
	人件費	3,323.52	3,669.72	3,669.72	3,669.72	3,669.72	
	投入 人員	常勤職員	0.48人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人
		非常勤職員	0.06人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
事業費+人件費		13,934	13,985	13,985	13,985	13,985	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①						-
	活動②						-
	成果①						-
	成果②						-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事務に必要な事業であるため、現状で継続する。
今後の取組方針	

事務事業名	7585 緑化推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	07	01	02	記入日	令和 3年 6月22日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	07	01	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	01	緑地・緑化											
施策	38	潤いのある緑地空間の創造											
事業期間	昭和54年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	戸田市緑化推進条例、緑化推進に関する規則 戸田市緑化推進補助金交付規程 戸田市建築物屋上等緑化奨励補助金交付要綱 戸田市生け垣等設置奨励補助金交付要綱					関連計画 施政方針	戸田市緑の基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	戸田市で保存樹木を所有している者、生け垣・屋上緑化等を設置する者。												
事業目的	良好な自然と生活環境を確保するため、樹木の保全とあわせて緑化を推進し、緑あふれる住み良いまちづくりを図る。												
事業内容	苗木の配布や緑化に関する補助金の交付を実施するほか、緑化を推進する計画の策定や遂行を図る。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		12,702	7,073	7,073	7,073	7,073	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	330	330	330	330	
	一般財源		12,702	6,743	6,743	6,743	6,743	
	人件費		5,469.96	5,193	5,193	5,193	5,193	
	投入 人員	常勤職員	0.79人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	
		非常勤職員	0.24人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人	
事業費+人件費		18,172	12,266	12,266	12,266	12,266		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	保存樹木補助金交付件数	件	指定された保存樹木に対して交付した補助件数		144	143	142
	活動②	補助金制度PR紙配布回数	回	町会回覧・広報掲載回数		143	141	-
	成果①	屋上緑化等補助金交付件数	件	屋上緑化等の補助件数		1	1	-
	成果②	生け垣等補助金交付件数	件	生け垣等の補助件数		1	0	-
						3	3	3
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 補助金制度を広報により周知啓発を図ったが、屋上緑化等補助金や生け垣等補助金の申請はなかった。補助金制度を多くの市民に活用してもらうため、周知啓発を一層充実するとともに、利用しやすく時勢に合った制度へのリニューアルの検討が必要であるとする。保存樹木は減少傾向にあるが新規の指定もあり、件数は若干の減にとどまっている。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>市街化が進み大きな緑地が確保しにくい状況において、既存の樹木、生け垣や樹林等を保存し緑の減少を防ぐことや、緑化の普及啓発を図ることにより新たな緑を増やす取り組みは、緑化に貢献しているものとする。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>屋上緑化や生垣の設置に多額の費用がかかるため、緑化のための補助金は妥当な費用と考える。指定されている保存樹木は高木が多く、管理に多額の費用が掛かるため、最低限の支援として適正な補助額と考える。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>緑地の確保は行政だけでなく市民と協力して実施すべきものであるが、個人による緑地の保全が経済面で大きな負担となっている。そのため、市民の負担を軽減するために補助金を支給することにより、緑を保全することは適正な事業手法と考える。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>補助金額は樹木の本数や面積等に応じている。保全される緑や、新たに設置される緑は環境の向上につながり、広く市民に貢献するものであることから、公平性が保たれていると考える。</p>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	令和2年度に、緑被率調査・緑の基本計画中間年次調査を実施した。
見直しの効果	調査の結果、緑被率はほぼ横ばい、緑の満足度については低下したことが判明した。緑の保全・創出や補助制度の活用について一層啓発が必要である。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<p><判断理由></p> <p>緑の保全、創出には市民の理解が不可欠であり、生け垣や屋上緑化補助の制度を広く市民に周知することにより制度の活用が図られる。そのため、緑の大切さについて理解を深めることや、補助金制度について啓発を継続していく必要がある。</p>
今後の取組方針	補助金制度のチラシやホームページを、分かりやすく内容を見直し、要件や手続き方法を積極的に周知するとともに、利用しやすく時勢に合った制度へのリニューアルを検討する。また、緑の大切さ、緑を守り育てることや、補助制度の活用により緑の保全や創出が図られることも合わせて啓発していく。

事務事業名	27263 水と緑のネットワーク推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	07	01	03	記入日	令和 3年 6月22日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	07	01	03		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補				
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									● 対象 ○ 対象外				
分野	01	緑地・緑化													
施策	38	潤いのある緑地空間の創造													
事業期間	平成19年度～令和5年度														
根拠法令 通達等	環境共生・創造マスタープラン					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画、戸田市緑の基本計画、水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）基本構想、戸田ヶ原自然再生事業全体構想								
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの														
対象	市民、事業者														
事業目的	自然と共生するまちづくりを市民など多様な主体とともに推進することを目的とする。														
事業内容	「戸田ヶ原」の自然再生等事業を関係団体等と連携し、水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として推進する。														
実施主体	■ 市による単独直営 ■ 委託 (■ 3セク・財団 ■ 企業 □ 市民・NPO) ■ 協働・協力 (企業市民NPO)														

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		7,510	4,247	4,247	4,247	4,247	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	2	2	2	2	
	一般財源		7,510	4,245	4,245	4,245	4,245	
	人件費		5,885.4	3,808.2	3,808.2	3,808.2	3,808.2	
	投入 人員	常勤職員	0.85人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	
		非常勤職員	0.03人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	
事業費+人件費		13,395	8,055	8,055	8,055	8,055		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	① 業務委託契約件数	件	業務委託の契約件数		1	1	1
		② 定例会開催日数	日	戸田ヶ原自然再生連絡会議の開催日数		2	2	2
	成果	① 業務委託執行率	%	業務委託の契約執行率		100	100	100
		② 戸田ヶ原イベント開催参加者人数	人	植え付け、さくらそうまつり等(除く管理作業)		700	700	700
目標達成 状況 の分析		B: 活動・成果のいずれかを達成した。 ＜判断理由＞ 戸田ヶ原自然再生事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全てのイベントが中止となったが、サクラソウ園や野草園の保全管理は継続して行った。また戸田ヶ原自然再生連絡会議は、令和2年度は実施計画改訂のため、例年より1回多く3回を開催した。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 点在する水辺や緑地をネットワーク化することにより市内に生き物呼び込むことが可能となるので、国や県等と連携しながら自然と共生するまちを実現する。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	A	A	<判断理由> 既存事業の活用や、市民ボランティア、事業者と協働することにより、限られた予算の範囲内で成果を出しており、適正と考える。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）行動計画や戸田ヶ原自然再生事業実施計画をもとに、市民や事業者と協働しながら進めており、事業手法は効率的、効果的であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 自然と共生するまちづくりは広く市民の利益に資するものであり、施策の内容は公平性が保たれていると考える。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	戸田ヶ原自然再生事業実施計画2021-2026として改訂した。
見直しの効果	これまでの実施計画における取り組みと成果を確認し、明確化された課題への取り組みを整理できた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 戸田ヶ原自然再生事業は市民や事業者との協働により管理を行い、着実に進んでいる。市街地での水と緑のネットワーク形成については、今後も目的達成のため継続する。
今後の取組方針	戸田ヶ原自然再生事業で培った取り組みを活かし、市民や事業者へ水と緑のネットワークに資する活動の啓発を行うとともに、引き続き協働により事業を推進していく。また、戸田ヶ原自然再生事業により株数が増加しているサクラソウを、市民により身近に感じてもらうため、市内に広めていく活動を行っていく。